事前評価個表

整理番号	15
正性田勺	1 3

地域(地区)名	ひのがわ 日野川	事 業 名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鳥取県	対象市町村	***ご 米子市ほか8市町村
事業実施期間	R7年度~R11年度(5年間)	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的

本地区は鳥取県西部に位置し、東側から南側には中国山地最高峰の大山を始め、標高が 1,000m を超える中国山地が連なり、この山地を水源とする日野川が中央部を北上し日本海 に続いている。

総土地面積 121 千 ha のうち森林面積は 85 千 ha (森林率 70%) であり、このうち民有林面積は 79 千 ha と、本地区の森林面積の 93%を占めている。

民有林の人工林率は 57%であり、県平均 55%と比較してその割合は高い。人工林の齢級構成は、標準伐期齢未満の森林が 13%を占め、県平均 11%と比較して高く、間伐を主とした適切な森林整備の実施が必要となっている一方で、標準伐期齢以上の森林の割合も多くなっている。

また、本地区の南部に位置する日野地方は、古来たたら用黒炭の原木林であったが、戦後以降は拡大造林による振興林業地域となり、北部の大山山脈はアカマツの適地で古くからマツ材の生産地となっている。

さらに、日南町にLVL(単板積層材)工場、南部町にCLT(直行集成板)工場、境港市に合板工場を有しており、県内有数の原木消費地となっている。また、レーザ航測データやドローン等を活用した「スマート林業」の推進により森林経営の効率化を図るなど、先進的な取組も進んでいる。さらに、近年では苗木の安定供給を担う日南町樹木育苗センターが配備されるとともに、日南町カラマツ特定母樹採種園等の整備が進められるなど、皆伐再造林の推進体制づくりが加速している。

このため、本地区では、持続的な林業経営を行うため、高齢級の人工林を皆伐し再造林を行うことで森林の若返りを図り、適切な保育実施に繋げていくことが必要である。

本事業では、日野川森林環境保全整備事業計画に基づき、間伐等の森林整備及び林業専用 道等の路網整備を実施し、良質の木材生産と同時に水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森 林の有する多面的機能の持続的発揮を目指すとともに、他事業と連携した間伐材の利用を推 進し、地域資源の有効活用と地域の振興を図るものである。

事業内容・事業

費

果

| 森林整備:4, 272ha

人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐等

路網整備: 4,000m

林道開設

総事業費:5,037,564千円 (税抜き 4,579,604千円)

費用便益分析結

i | B.

B/C = 3.70

(総便益(B)=26,663,811千円 、総費用(C)=7,209,367千円)

評価結果

必要性: 本地区では、利用期を迎えている森林を多く保有し、森林の有する多面的機能の維持増進のため、主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められていることから、事業の必要性は認められる。

効率性: 計画的な森林整備及び路網整備により、施業の効率化が図られ、費用便益分析の 結果からも事業の効率性が認められる。

有効性: 水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮、維持増進を図るため、適正 な保育・間伐等の森林整備の実施及びそれに必要な基盤整備として路網の整備を行 う事業であり、有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業 都道府県名: 鳥取県

地域(地区)名: 日野川 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考	
	洪水防止便益	9, 242, 826		
水源涵養便益	流域貯水便益	1, 550, 043		
	水質浄化便益	6, 029, 440		
山地保全便益	土砂流出防止便益	5, 225, 319		
環境保全便益	炭素固定便益	581, 344		
	木材生産経費縮減便益	64, 684		
木材生産等便益	木材利用増進便益	429, 294		
	木材生産確保・増進便益	1, 142, 089		
	造林作業経費縮減便益	3, 165		
森林整備経費縮減便益	森林管理等経費縮減便益	394		
	森林整備促進便益	2, 230, 324		
災害等軽減便益 災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	942		
維持管理費縮減便益		163, 947		
総 便 益 (B)		26, 663, 811		
総 費 用 (C)		7, 209, 367		
弗里压光儿	B/C=	26, 663, 811	= 3.70	
費用便益比		7, 209, 367	- 3.70	

参考

費用便益比 (i=0.02)	B/C=	42, 130, 723 ————— = 5, 39
	B / C	7, 812, 308
費用便益比 (i=0. 01)	B/C=	$\frac{55,543,259}{2} = 6.50$
		8, 548, 547

